

# 第5回 台東区子ども歴史・文化検定 中学生問題

## 解答と解説

解説文の最後に、参考ページ数をのせています。

※改 とついているものは、改訂版テキストのページです。

平成26年8月23日（土）  
台東区教育委員会

問1

正解 エ

天海てんかいは上野の山に寛永寺という幕府の祈願寺を建て、この時京都と滋賀の名所にならない清水堂や弁天堂を建てました。また、吉野よしの（奈良県）の桜や梅などを植え、上野は花見の中心となりました。（17ページ頁・改16頁）

---

問2

正解 エ

湯島貝塚は本郷台にあります。他の3つは上野台にあります。（9頁・改8頁）

---

問3

正解 ウ

1868（慶応4）年の2月12日から4月11日まで寛永寺の大慈院だいじいんに入って謹慎きんしんしました。（23頁・改23頁）

---

問4

正解 ア

現在も浅草寺の本尊ほんぞんとして、聖観音しょうかんのんがまつられています。（14頁・改12頁）

---

問5

正解 エ

法華経や関東八ヶ国にちなんで「東照」とつけられました。(17頁・改16頁)

---

問6

正解 ア

下谷と浅草を一緒にしました。(25頁・改25頁)

---

問7

正解 ア

1944(昭和19)年8月から国民学校初等科(現在の小学校)3年生から6年生まで下谷区が<sup>ふくしま</sup>福島県、浅草区が<sup>みやぎ</sup>宮城県へ疎開しました。現在の台東区の友好都市は<sup>あいづたかだまち</sup>会津高田町(現<sup>みさとまち</sup>会津美里町)のように、当時の疎開先が縁で<sup>ていけつ</sup>締結した自治体もあります。(32頁・改32頁)

---

問8

正解 イ

その代わりに、<sup>りんせつち</sup>隣接地に<sup>せんとう</sup>銭湯が設けられていました。(43頁・改44頁)

---

問9

正解 エ

牛なべは明治時代になって食べられるようになりました。(38、41頁・改37、42頁)

問10

正解 ウ

明治時代、根岸に住んでいた植木屋の篠常五郎しのつねごろうが売り始めました。常五郎は自宅で万年青の品評会を開いたり、『万年青図譜』おもとすふという本を出版したりしています。(58頁・改58頁)

---

問11

正解 イ

カナリヤの他に、鶯うぐいすも声の美しさを楽しむために飼かわれました。(56頁・改56頁)

---

問12

正解 ア

区内には、寛永寺と浅草寺に「時の鐘」があります。現在でも毎日、寛永寺は朝夕6時と正午、浅草寺は朝6時に鳴らされています。(54頁・改54頁)

---

問13

正解 ア

明治時代の庶民は、井戸やトイレを共同で利用し、土間に台所を備えた棟割長屋そな むねわりながやに住んでいました。一戸建いっこだては中流階級であるサラリーマンが住みました。文化住宅、アパートメントハウスは大正時代にみられた建物です。(42頁・改43頁)

問14

正解 イ

芸能とは、音楽・舞踊<sup>ぶよう</sup>などの演芸のことをいいます。雅楽は音楽の一種目です。(62頁・改61頁)

---

問15

正解 イ

写真は堀口製作所<sup>ほりぐちせいさくじょ</sup>の堀口宏<sup>ほりぐちひろし</sup>さんです。「襖引手作り<sup>ふすまひきて</sup>」は2008年に生活文化財に指定されました。(61頁・改60頁)

---

問16

正解 ア

中国(隋<sup>すい</sup>・唐<sup>とう</sup>)から学び、中央と地方を結ぶために道路が整備<sup>せいび</sup>されました。(67頁・改67頁)

---

問17

正解 ウ

飛行機とヘリコプターは江戸時代にはありませんでした。蒸気機関車は外国では使われていましたが、日本で蒸気機関車による鉄道が開通したのは1872(明治5)年です。(65頁・改64頁)

問18

正解 イ

トロリーバスは道路上の架線<sup>かせん</sup>から電気を取り走るバスでしたが、1968（昭和43）年に廃止<sup>はいし</sup>されました。（66頁・改66頁）

---

問19

正解 エ

明暦の大火は江戸の中心部から浅草方面への寺院の移転をうながしました。関東大震災は1923（大正12）年におきました。（83頁・改83頁）

---

問20

正解 イ

不忍池は上野恩賜公園の一部で、四季折々の自然を楽しむことができます。特に春のサクラと夏のハスは有名です。（72～73、75～77頁・改72～73、75～77頁）

---

問21

正解 イ

江戸時代の初めの寛永寺創建<sup>そうえん</sup>の時に、天海僧正によりつくられました。（75頁・改75頁）

問22

正解 ウ

東本願寺は明暦の大火後、神田から浅草へ移ってきました。(83頁・改83頁)

---

問23

正解 エ

江戸時代からある行事と伝えられ、毎年1月12日10時に報恩寺で行われる行事です。このときに鯉<sup>こい</sup>2匹が料理されます。(91頁・改89頁)

---

問24

正解 ウ

七福神は恵比須・大黒天・毘沙門天・弁財天・福祿寿・布袋・寿老人をいいます。台東区には谷中七福神、浅草名所七福神、下谷七福神などがあります。(91頁・改88頁)

---

問25

正解 ア

毎年1月8日に行われる行事で、竹をもった子供たちが「とんとんと」といいながら地面をたたきます。正月飾りを燃<sup>も</sup>やすこの火にあると1年を元気に過ごせるともいわれています。(91頁・改88頁)

問26

正解 イ

11月中の酉とりの日に開かれる市で、「福かを掻き込む（取り込む）熊手」という文句とともに、おたふくせんりょうばこや千両箱、稲穂いなほなどをつけた熊手が縁起物として売られています。（99頁・改96頁）

---

問27

正解 エ

神社境内には富士塚ふじづかが設けられ、両日には山開きの行事を行い、誰でも登山することができます。（96頁・改93頁）

---

問28

正解 イ

境内に鯉こいを供養くようした鯉塚が建てられており、「鯉」と「恋」が同じ音ということで、縁結びの塚として親しまれています。（104、108、109、111頁・改101、105、106、108頁）

---

問29

正解 イ

目赤不動は文京区、目青不動は世田谷区、目白不動は豊島区にあります。（110頁・改107頁）



### 問30

#### 正解 エ

新堀川しんぼりがわは現在のかっぱ橋道具街通りを流れていました。雨合羽あまがっぱを売って財さいを築きずいた合羽屋喜八かっぱやしはちの墓が、松が谷3丁目の曹源寺そうげんじ（かっぱ寺）にあります。（104頁・改101頁）

---

### 問31

#### 正解 イ

初代御行の松は、高さ13.63m、幹の周囲は4.09mあり、樹齡じゅれい350年と推定すいていされていましたが、1928（昭和3）年に枯かれてしまいました。また、2代目の松は20年ほどで枯れてしまいました。（105頁・改102頁）

---

### 問32

#### 正解 ア

玉林寺が建てられたのは1591（天正9）年といわれ、豊臣秀吉が活躍かつやくした安土桃山時代ですが、シイの木はそれよりも前からあったとお寺に伝えられています。シイの木の高さは9.5m、幹の周囲は5.6mで、枝を大きく張った見事な木です。（105頁・改102頁）

---

### 問33

#### 正解 ア

伊東玄朴いとうげんぼくは種痘しゅとうを行った実力を認められて将軍の侍医じいにもなりました。（122頁・改119頁）

問34

正解 イ

<sup>やまだこうさく</sup>山田耕筰は日本初の管弦楽団を作るなどして西洋音楽を広めました。「赤とんぼ」などの作品もあります。アは明治～昭和時代の彫刻家。ウは明治～昭和時代の美術史家で日本画の<sup>かいかく</sup>改革を行いました。エは明治～昭和時代の詩人、小説家です。(134頁・改132頁)

---

問35

正解 ウ

<sup>ばくふ</sup>幕府から命令を受けた天文学者の<sup>たかはしよしとき</sup>高橋至時は、浅草天文台で星の<sup>かんそく</sup>観測を続け、<sup>かんせい かいれき</sup>寛政の改暦を完成させました。(117～118頁・改114～115頁)

---

問36

正解 ア

<sup>ひ ほ かんのおんぞう</sup>「悲母観音像」は<sup>かのうほうがい</sup>狩野芳崖の代表作で国の重要文化財に指定されています。(130頁・改127頁)

---

問37

正解 エ

オランダは、漢字で「和蘭」「阿蘭陀」と書きます。その中の「蘭」の字を取って、ヨーロッパの学問を<sup>らんがく</sup>「蘭学」というようになりました。(117頁・改114頁)

問38

正解 ウ

江戸時代には現在の荒川区西日暮里から谷中にかけてがショウガの産地<sup>さんち</sup>でした。この一帯は水に恵まれ、排水<sup>めく</sup>もよく、排水<sup>はいすい</sup>もよく、日当たりも西日が当たらないという好条件に恵まれていたと一般的にいわれています。(124頁・改121頁)

---

問39

正解 ウ

高松<sup>たかまつり</sup>凌雲<sup>りょううん</sup>は幕末から明治時代にかけて活躍した医師で、徳川<sup>よしのぶ</sup>慶喜<sup>つか</sup>にも仕えました。貧しい人々<sup>ます</sup>を無料で診察<sup>しんさつ</sup>する同愛社<sup>どうあいしゃ</sup>をつくった人でもあります。(123頁・改120頁)

---

問40

正解 イ

忠敬<sup>ただたか</sup>の時代には飛行機はありませんでした。飛行機が実用化されたのは、20世紀に入ってからです。(120～121頁・改117～118頁)

---

問41

正解 ウ

自動車<sup>自動車</sup>が日本に初めて輸入されたのは、1898(明治31)年といわれています。(147頁・改146頁)

問42

正解 エ

1876(明治9)年の上野公園開園式典のレセプション会場のために作られ、その後色々な使われ方をしました。台東区が誕生したのは1947(昭和22)年です。(141頁・改140頁)

---

問43

正解 イ

明治時代には今に比べて高い建物が少なく、区内各地で富士山が良く見えました。東京スカイツリーは2012(平成24)年の完成です。(141頁・改140頁)

---

問44

正解 ウ

鹿鳴館<sup>ろくめいかん</sup>は舞踏会場として日比谷<sup>ひびや</sup>に建てられました。(141頁・改140頁)

---

問45

正解 ア

開園当時、国内施設は不十分で、式典後のレセプション会場にも困る状況でした。上野公園の場合、岩倉具視<sup>いわくらともみ</sup>の知り合いであった精養軒<sup>せいようけん</sup>に出店を依頼して現在地に建てられました。その後も上野精養軒はレセプション会場として使用されましたが、のちに新たな施設<sup>しせつ</sup>として「鹿鳴館」が現在の日比谷公園付近につくられました。(141頁・改140頁)

問46

正解 イ

ア、ウ、エは上野公園内で見ることができます。イは羽村市はむらにあります。(142頁・改141頁)

---

問47

正解 イ

この酒店は1910(明治43)年に建てられ、1986(昭和61)年に谷中から現在の上野桜木いちくに移築されました。入口は横長の板の戸を上げ下げして開閉する揚戸あげどがあり、現代のシャッターに似ているといえます。店内中央に帳場ちようば、左側に商品を並べる棚があります。(161頁・改160頁)

---

問48

正解 エ

代表的な句は「柿食へば鐘がなるなり法隆寺」です。(167頁・改166頁)

---

問49

正解 ウ

ポリ袋の材料となるポリエチレン、ポリプロピレンなどの製造せいぞうは新しい技術で、江戸時代には日本ではつくられていませんでした。(159頁・改158頁)

問50

**正解 工**

江戸下町伝統工芸館（ギャラリー匠）には、区内で作られているさまざまな伝統工芸品が展示されています。（159頁・改158頁）